

令和7年度版『小学どくとく2 はばたこう明日へ』 年間指導計画・評価の視点表

2025年4月

○本表では、5・6・10・11・2月に、それぞれ1時間のゆとりの時間を想定して作成しています。（「学習月」欄の「■」のところです。）
○ゆとりの時間では、学校の実情に応じて補充教材を活用したり、それにかえて自作教材や郷土資料などを活用したりすることを想定しています。

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
4月	どくとくで 学しゆうする こと どくとくでは こんな 学び方を するよ	適時	自分で考えたり、友達と話し合ったりすることとおして、道徳科の学習における学び方を理解するとともに、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めようとする意欲をもつ。		*友達との対話とおして自分自身を見つめ、自分の考えを意欲的に伝え合うことができているか。 *友達の発言を受容的に聞き、自分の考えとは違う意見を大切にしようとする態度で学習できているか。	—
4月 ③	1 春が いっぱい 「しぜんを かんじる」 【D 自然愛護】	1	身のまわりの春について考えることとおして、自然のすばらしさや動植物との接し方に気づき、自然や動植物を大切にしようとする心情を育てる。	1. これまで春について感じたことを想起する。 ○春になると、どうして心がわくわくするのでしょうか。 2. 『春が いっぱい』を読んで、身のまわりにある春のよさについて考える。 【考えよう】 ○みなさんのまわりにある春をたくさん見つけて、発表しましょう。 ★見つけた春の中で、いちばん好きな春を理由と一緒に紹介しましょう。 3. 自然のよさについて確かめ、その大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○他の季節の素敵などころもみんなで見つけて、発表しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *自然のすばらしさに気づき、身近な動植物や光や風などの自然について、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *優しく、温かい心で身近な動植物に接することの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。	生活
	2 知らない 人にも 「気もちの よい あいさつ」 【B 礼儀】	1	知らない人(来訪者)にも挨拶をしたほうがよいのかというおとについて考えることとおして、挨拶が相手に与える影響や挨拶がもっている力に気づき、相手をさわやかな気持ちにさせる挨拶をしようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 挨拶をする場面を想起し、相手について考える。 ○みんなは普段、誰に挨拶をしていますか。 2. 『知らない 人にも』を読んで、相手をさわやかな気持ちにさせる挨拶のよさについて考える。 【考えよう】 ○知らない人にも挨拶をしたほうがよいのでしょうか。 ★相手をさわやかな気持ちにさせる挨拶とは、どんな挨拶でしょう。 3. 挨拶の大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○あなたは、どのようなことを大切にして、挨拶をしていきたいですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *挨拶がもっている力に気づき、知らない人(来訪者)にも挨拶をすることの意義や大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *知らない人(来訪者)にも挨拶をすることの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。	生活
	3 「つよいこころ」 「強い 心とは」 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	1	勇気を出して行うことについて考えることとおして、物事のよいことと悪いことを区別し、よいと思うことを行う「勇気」を出すために必要なことに気づき、強い心をもってすすんでよいと思うことをしようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 勇気を出して行動した経験について考える。 ○みんなは、勇気を出して何かをやり遂げたことがありますか。 2. 『「つよいこころ」』を読んで、勇気を出して正しいと思うことを行うことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○それぞれの勇気をどう思いますか。 ★勇気を出すためには、何が必要なのでしょう。 3. 勇気を出して行うために大切なことについて確かめ、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○みなさんにとって、高めた「つよいこころ」は、どのような心ですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *勇気にはさまざまな種類があり、自分が正しいと信じているところにしてがって行動することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *よいことと悪いことを区別し、よいと思うことをすすんで行うことの大切さを理解し、勇気を出して正しいことを行うことのよさについて、自分との関わりで考えることができているか。	学級活動
5月 ③ ■	4 あいさつの しかた 「いろいろな あいさつ」 【B 礼儀】	1	友達や先生、お客さんとのやりとりを体験的に学ぶこととおして、時と場面に応じた挨拶の仕方を理解し、時と場面や相手に応じた挨拶ができるようにする判断力を育てる。	1. 今までにしてきた挨拶の仕方について考える。 ○みんなはどのような挨拶の仕方をしていましたか。 2. 『あいさつの しかた』を読んで、人や場面に合わせた挨拶の大切さについて考える。 ○「はく」、みなとくん、ひろきくんになって、挨拶の場面をやってみましょう。 ○「はく」、吉田先生、お客さんになって、挨拶の場面をやってみましょう。 3. 人や場面に合わせた挨拶の大切さについて確かめる。 ★どのような場面で、どのような挨拶の仕方があるか、考えてみましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *時と場面に応じた挨拶をすることの大切さについて理解を深め、役割演技とおして多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *礼儀正しい挨拶の仕方を理解し、時と場面に応じて実践しようとするについて、自分との関わりで考えることができているか。	生活、挨拶運動

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
6月④■	5 お月さまと コロ 「すなおな 心で」 【A 正直、誠実】	1	謝りたいのになかなか謝れなかったコロが、謝ろうと決めるまでの心情を考えると、素直な気持ちでいることの大切さに気づき、素直で明るい気持ちを大切にしていこうとする心情を育てる。	1. 素直になれなかった経験について考える。 ○謝りたいのに、謝れなかったことはありますか。 2. 『お月さまと コロ』を読んで、素直な心でいることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○(あやまらなくちゃ。)と思ったのに、なかなか言えなかったコロは、どんなことを考えていたのでしょうか。 ★コロが謝ろうと決めたのは、どのような気持ちからでしょう。 3. 素直な心でいることのよさについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○あなたが今までに素直になってよかったなと思ったことを、コロに話してみよう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *素直で明るい気持ちでいることの大切さに気づき、素直で明るい気持ちでいることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *素直で明るい気持ちで生活することのよさを理解し、素直になるとよいことがあるということについて、自分との関わりで考えることができるか。	国語、音楽
	6 あと 少し 「ねばり強く やりぬく」 【A 希望と勇気、努力と強い意志】	1	二重跳びができるようになりたいと努力を続けた「ぼく」の気持ちや行動について考えることをとおして、くじけずに努力を続けることの大切さに気づき、自分の目標を持ち、どんなにつらくとも諦めないで自分で立てた目標を達成しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 努力を続けている経験について考える。 ○できるようになりたいことや、難しいけれどがんばっていることは、ありますか。 2. 『あと 少し』を読んで、くじけずに努力を続け、やり遂げることのよさについて考える。 【考えよう】 ○練習を続けても、うまくできなかったとき、「ぼく」はどのような気持ちだったでしょう。 ★「あと 少し。あと 少し。」とがんばって「できた」とき、「ぼく」はどのようなことを考えていたのでしょうか。 3. 努力を続けることの大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○あなたががんばり続けていることはありますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *苦しいことに対しても諦めずに努力を続けることの大切さに気づき、くじけずに努力することについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *目標に向かって努力することの大切さを理解し、も諦めないで目標を達成しようとするということについて、自分との関わりで考えることができるか。	体育
	【コラム】 ◆がんばりつづける 力		『あと 少し』で学習したことを踏まえて、これまでの生活でがんばり続けていることを思い起こし、自分がんばり続ける力があることに気づかせる。			—
	7 もう やらない! 「みんなと 楽しく 生活する」 【C よりよい学校生活、集団生活の充実】	1	自分の思いどおりにいかなかったときのかずとくんの言動について考えることをとおして、周りにいる人たちと楽しく学校生活をおくるために大切なことに気づき、みんなと楽しく遊ぶためにはどうしたらいいかを考え、実行しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 楽しい学校生活について考える。 ○かずとくんは、どうして走って行ってしまったのでしょうか。 2. 『もう やらない!』を読んで、学校のみんなと楽しく生活することの大切さについて考える。 【もんだいを見つける】 ○このお話で、問題だと思ったことはなんですか。 ○どうして、そのような問題が起きたのでしょうか。 【かいけつほうほうを 考える①】 ○どうしていれば、問題が起きずにすんだのでしょうか。 【かいけつほうほうを 考える②】 ○みんなのところへ駆け出したかずとくんは、なんと言えばよいのでしょうか。また、みんなはかずとくんになんと言えばよいのでしょうか。 【考えた ことを 生かす】 ○みんなと遊ぶとき、大切にしたいことはなんですか。 3. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *先生や友達とともに、楽しい学校生活をおくるために大切なことについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *先生や友達など、周りの人とよい関係を築き、よりよい学校生活をおくるために大切にしたいことについて、自分との関わりで考えることができるか。	学級活動
8 金のおの 「いつも 正直に」 【A 正直、誠実】	1	きこりと、その仲間のもう一人のきこりの行動について考えることをとおして、正直に生きることの大切さに気づき、うそをついたり、ごまかしたりせず正直に生活していこうとする判断力を育てる。	1. うそをついた経験や、どうしてうそをついてしまうのかについて考える。 ○みんなは、うそをついたことがありますか。どうしてうそをついてしまうのでしょうか。 2. 『金のおの』を読んで、うそをつかず、正直に生きることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○どのような気持ちから、きこりは金と銀のおのではなく、自分のおのを選んだのでしょうか。 ★仲間のきこりは、女神様が二度と現れなかったとき、どのようなことを考えたのでしょうか。 【やってみよう】 ○女神様の役になって、二人のきこりに言う言葉を考えて、演じてみましょう。 3. 正直に生きることの大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○うそやごまかしをせずに、生活することのよさはなんですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *うそをつかず、正直に生きることの大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *うそをついたり、ごまかしたりせずに、正直に生活することについて、自分との関わりで考えることができるか。	国語	

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
7月②	ユニット:いじめをなくす 9 みほちゃんと、となりのせきのますだくん 「友だちの気持ちに なって」 【B 友情、信頼】	1	みほちゃんとますだ君のそれぞれの気持ちや行動について考えることをとおして、自分の思いだけでなく友達の良い気持ちも考えて行動することの大切さに気づき、互いの気持ちを理解しながら接しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 友達と仲よくすることについて考える。 ○みんなは、友達と仲よくしていますか。 2. 『みほちゃんと、となりのせきのますだくん』を読んで、二人の立場と気持ちを考え、お互いを理解しようとする大切さについて考える。 【もんだいを 見つける】 ○ますだ君がしていることで、問題なのはどのようなことでしょうか。みほちゃんがしていることで、問題なのはどのようなことでしょうか。 ○ますだ君もみほちゃんも、どうしてそのようなことをしたのでしょうか。 【かいつまみ 考える①】 ○自分がますだ君の立場だったら、このあとどうしますか。 【かいつまみ 考える②】 ○二人が仲よくなるためには、どうしたらよいのでしょうか。 【考えたことを 生かす】 ○友達と仲よくするために、大切なことはなんですか。 3. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *話し合いをとおして、友達の気持ちを考えることの大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *自分の思いだけでなく、友達の気持ちを考えることも大切にし、互いの気持ちを理解しながら接することについて、自分との関わりで考えることができるか。	国語、生活
	10 ごみすて 「公正・こうへいな たいどで」 【C 公正、公平、社会正義】	1	一人になったかすみ、ごみ捨てに行く二人の後ろ姿を見ながらどんなことを考えたのかについて話し合うことをとおして、人によって態度を変えないことの大切さに気づき、誰に対しても公正・公平な態度で接しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 困っているとも立ちへの対応について考える。 ○困っている友達がいるとき、あなたは どうしますか。 2. 『ごみすて』を読んで、自分の勝手に人への対応を変えず、誰に対しても公正・公平に接することの大切さについて考える。 【考えよう】 ○ゆかちゃんは、どのような気持ちで、さつきちゃんを手伝ったのでしょうか。 ★一人になったかすみは、ごみ捨てに行く二人の後ろ姿を見ながら、どのようなことを考えたのでしょうか。 3. 自分の好き嫌いにとらわれずに接することのよさについて確かめ、その大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○人と関わるときに大切なのは、どのようなことでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *自分の好き嫌いにとらわれずに接することのよさに気づき、誰に対しても公正・公平な態度で接することについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *人によって態度を変えないことの大切さに気づき、誰に対しても公正・公平な態度で関わろうとするよさについて、自分との関わりで考えることができるか。	学級活動
	〈コラム〉 知らないうちに だれかを きずつけて いるかも……	—	『みほちゃんと、となりのせきのますだくん』、『ごみすて』で学習したことを踏まえて、知らないうちに友達を傷つけているかもしれないということに気づかせ、これからの生活でいじめにつながる言動に気をつけ、お互いを理解し、思いやることの大切さに気づかせる。			—
9月③	11 すてきな2年生 「きそく正しく、気持ちよく」 【A 節度、節制】	1	「すてきな2年生」になるために行動する登場人物のよいところについて考えることをとおして、規則正しく、気持ちのよい、節度ある生活をする大切さに気づき、規則正しい生活をしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 自分のこれまでの生活について考える。 ○学校や家での生活を思い出してみよう。規則正しい生活ができていますか。 2. 『すてきな2年生』を読んで、規則正しく、気持ちよく、節度ある生活をするよさについて考える。 【考えよう】 ○お話を読んで、みんなのどのようなところが素敵だと思えましたか。 ★素敵な2年生とは、どのような2年生のことなのでしょう。 3. 規則正しく、気持ちよく、節度ある生活をする大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○素敵な2年生になるために、どのようなことを心がけたいですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *健康に気をつけ、身のまわりを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *規則正しく、気持ちのよい、節度ある生活をする大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。	生活

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
	12 電車の中で 「あたたかい心で」 【B 親切、思いやり】	1	電車の中の男の人の行動について考えることをとおして、他者に対して思いやりの行動をとることのすばらしさに気づき、温かい心ですすんで他者に親切にしていこうとする心情を育てる。	1. これまで他者に対して行った親切について考える。 ○困っている人に優しくすることができていますか。 2. 『電車の中で』を読んで、他者に対して思いやり、行動することのよさについて考える。 【考えよう】 ○どうして、たかしさんは(少しつめてくれればいいのに。)と思ったのでしょうか。 ★(そうだったのか……。)と、訳がわかったとき、たかしさんは、男の人のことをどのように思ったのでしょうか。 3. 他者に対して思いやり、行動することの大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○困っている人に優しくすることが大切なのは、どうしてでしょうか。自分の考えをまとめましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【つなげよう】 ○今日の学習で考えたことは、どのようなときに生かしていけるでしょうか。	【多面的・多角的に考える】 *親切にすることや相手を思いやることのすばらしさに気づき、困っている相手のことを思いやり、温かい心で親切に接することについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *困っている相手のことを思いやり、温かい心で親切に接することの大切さについて、自分との関わりで考えることができていますか。	—
	13 もったいない 「みのまわりにあるものを大切に」 【A 節度、節制】	1	「もったいない」と言うおばあさんの行動について話し合うことをとおして、物は限りある資源と人の努力によって作られていることに気づき、身のまわりにある物を大切にしたい生活していこうとする道徳的心情を育てる。	1. 物を大切にすることについて考える。 ○「もったいない」という言葉を聞いたことはありますか。 2. 『もったいない』を読んで、身のまわりにある物を大切にすることのよさについて考える。 【考えよう】 ○おばあさんに「もったいない」と言われた「ぼく」は、どんなことを思ったのでしょうか。 ★おばあさんがこんなにも「もったいない」と言うのはどうしてでしょうか。 3. 身のまわりにある物を大切にすることについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○身のまわりで、物やお金が「もったいない」と思ったことはありますか。それはどんなときでしたか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *物を大切に扱うことのよさに気づき、身のまわりにある物を大切にしたい生活することについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *物は限りある資源と人の努力によって作られていることに気づき、身のまわりにある物を大切にすることのよさについて、自分との関わりで考えることができていますか。	図画工作
10月④■	14 みんなのものって？ 「みんなのものを大切に」 【C 規則の尊重】	1	「ぼく」の行動をもとに約束やきまりについて体験的に学ぶことをとおして、約束やきまりの大切さに気づき、みんなが使うものやみんなのものを大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。	1. みんなのものを大切にすることについて考える。 ○みんなのものを大切にすることって、どういうことでしょうか。 2. 『みんなのものって？』を読んで、体験的に学ぶことをとおして、「みんなのものを大切にすることの意味とよさについて考える。 ○「ぼく」になって、先生に言われた場面をやってみましょう。 ○「ぼく」になって、おじさんに言われた場面をやってみましょう。 3. 「みんなのものを大切にすることの大切さについて確かめる。 ★他にもみんなのものにはどのようなものがありますか。それは、どうすることで大切にしていけるのでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *約束やきまりを守り、みんなが使うものを大切にすることについて、自分との関わりで考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *約束やきまりを守り、みんなが使うものを大切にすることについて、自分との関わりで考えることができていますか。	生活
ユニット：じょうほうとむき合う						
	15 しんじていいのかな 「みのあんぜんをまもる」 【A 節度、節制】	1	「わたし」の行動について考えることをとおして、情報の扱い方について考え、個人情報流出などの危険を防ぎ、安全に生活することの大切さを理解して、安心・安全な生活をしていこうとする判断力を育てる。	1. 安全について考える。 ○みんなは、安全に気をつけて毎日の生活を送っていますか。 2. 『しんじていいのかな』を読んで、身の安全を守り、情報を慎重に扱うことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○「わたし」が、(きつと、だいじょうぶ。)だと思ったのはどうしてでしょうか。 ★あなたなら、インターホンに出ようか迷っている「わたし」へ、どのようなアドバイスをしますか。 3. 身の安全を守ることの大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○安全に生活するためには、どのようなことに気をつけなければならないのでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *友達の考えにふれ、安全に生活することの大切さに気づき、危険を避けて安全に生活するためには、どのようにすればよいかについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *危険を避けて安全な生活を送るために必要なことに気づき、今後どのようにすればよいかについて、自分との関わりで考えることができていますか。	情報モラル教育
	〈コラム〉 自分や友だちのじょうほう、どうあつかう？	—	『しんじていいのかな』で学習したことを踏まえて、情報の大切さに気づかせ、他者に簡単に個人情報を渡してはいけないということを理解させる。			—

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
	16 ぼんたとかんた 「よいと思うことをすすんで」 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	1	ぼんたとかんたの行動について考えることをとおして、物事のよいことと悪いことに対する考えを深め、よいと思うことをすすんで行おうとする判断力を育てる。	1. よいと思う行動をすることについて考える。 ○よいと思ったことを伝えたり、行ったりできていますか。 2. 『ぼんたとかんた』を読んで、よいと思う行動をすることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○「ぼくは行かない。」ともう一度、はっきりと言ったとき、ぼんたはどのような気持ちだったでしょう。 ★ぼんたは、どのような気持ちから、にっこり笑ってうなずいたのでしょうか。 3. よいと思う行動をすることの大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○よいことをすすんで行うには、どのようなことを心がければよいのでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *よいと思う行動をすることの大切さに気づき、よいことと悪いことを正しく判断するにはどうすればよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *善悪を判断することの大切さを理解し、正しいことを自らすすんでしようとすることについて、自分との関わりで考えることができるか。	国語、生活
11月④■	17 いいのかな 「きまりをまもって」 【C 規則の尊重】	1	たつやさんの行動について考えることをとおして、約束やきまりの大切さに気づき、きまりを守って生活しようとする判断力を育てる。	1. 約束やきまりについて考える。 ○約束やきまりは、どうしてあるのでしょうか。みんなで考えてみましょう。 2. 『いいのかな』を読んで、約束やきまりを守ることの大切さについて考える。 【もんだいを見つけよう】 ○たつやさんがしたこと困ったところはどこでしょう。 ○たつやさんは、どうしてそんなことをしたのでしょうか。 【かいつまめよう①】 ○たつやさんは、どうすればよかったですか。 【かいつまめよう②】 ○（いいのかな。）と悩んでいる二人に、どのようなことを伝えますか。 【考えたことを生かそう】 ○みんなのものを使うときに、大切なことはなんですか。 3. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *自己中心的な発想の問題点に気づくとともに、約束や決まりの大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *楽しく遊ぶためにも約束やきまりが必要であることに気づき、約束やきまりを守って生活することについて、自分との関わりで考えることができるか。	生活、法教育
	18 はりきりパンダとだらだらパンダ 「まけない心を」 【A 希望と勇気、努力と強い意志】	1	やる気が起こらず、やるべきことに取り組めずに困っているあやちゃんの気持ちや行動について考えることをとおして、怠けたいという気持ちに負けずに、自分のやるべきことを行う大切さに気づき、強い意志をもって行おうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 自分がやるべきことについて考える。 ○自分がやるべきことには、どのようなことがあるでしょうか。 2. 『はりきりパンダとだらだらパンダ』を読んで、弱い心に負けずに、自分のやるべきことを行う大切さについて考える。 【考えよう】 ○だらだらパンダに誘われて、自分がやらなければならないことをやらずにいると、どうなるでしょう。 ★どうしたら、だらだらパンダをはりきりパンダに変えられるでしょう。 【やってみよう】 ○あやちゃんの役になって、だらだらパンダに言う言葉を考えて、伝えてみましょう。 3. 自分がやるべきことを行う大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○みなさんは、自分がやるべきことをしっかりやれていますか。自分がやるべきことをしっかりやるために、大切なことはなんですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *自分のやるべきことをしっかりと行うことの大切さを理解し、怠け心に打ち勝つ方法について、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *怠けたいという気持ちに負けずに、強い意志をもって自分のやるべきことを行うことの大切さや難しさについて、自分との関わりで考えることができるか。	生活、家庭学習
	＜コラム＞ ◆自分のやるべきこと			『はりきりパンダとだらだらパンダ』で学習したことを踏まえて、自分がやるべきことをしっかりやることの大切さに気づかせる。		—
	19 ありがとうはだれが言う？ 「まわりの人にありがとう」 【B 感謝】	1	お客さんも店員さんにお世話になっていることに気づいた「ぼく」の心情の変化について考えることをとおして、日頃からお世話になっている全ての人に感謝の気持ちをもつことの大切さに気づき、日常生活のさまざまな場面で感謝の気持ちを表そうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 周りの人に感謝をすることについて考える。 ○あなたは、誰に対して「ありがとう」と言っていますか。 2. 『ありがとうはだれが言う？』を読んで、周りの人に感謝をすることについて考える。 【考えよう】 ○スーパーマーケットからの帰り道におばあちゃんの話聞いて、「ぼく」は、どのように思ったでしょう。 ★バスを降りたあと、「ぼく」がちよっぴりさわやかな気持ちになったのはどうしてでしょう。 3. 感謝をすること、感謝をされることについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○「ありがとう」と言われたことはありますか。そのとき、どんな気持ちでしたか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【つなげよう】 ○あなたは、生活の中で、どのようなときに「ありがとう」と言いますか。	【多面的・多角的に考える】 *お世話になっている身近な人々に対して感謝の気持ちを伝えることの意味や大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *日頃からお世話になっている身近な人々に対してどのような態度で接したり、どのような言葉かけをしたらよいかについて、自分との関わりで考えることができるか。	生活、社会参画教育

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
12月③	20 ゆかみがき 「はたらくことのよさ」 【C 勤労、公共の精神】	1	床磨きをする二人の気持ちや行動について考えることをとおして、自ら働くことの楽しさやよさに気づき、すすんでみんなのために働こうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 登場人物の行動を予想し、働くことについて考える。 ○友達に、先に遊びに行ってしまったようです。なおやさんは、どうするのでしょうか。 2. 『ゆかみがき』を読んで、働くことのよさについて考える。 【考えよう】 ○あやかさんとなおやさんのすごいところはどこでしょう。 ★先生やみんなを見て、二人がますます笑顔になったのは、どうしてでしょう。 3. 働くことのことのよさについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○働くと、どうしてよい気持ちになるのでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【つなげよう】 ○二人のような人が、みなさんのクラスにもいるでしょうか。みんなで話し合ってみましょう。	【多面的・多角的に考える】 *働くことのよさに気づき、みんなのために働くことについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *みんなのために働くことのよさを理解し、すすんで仕事をしようとする事について、自分との関わりで考えることができているか。	学級活動
	21 わたしの町のあんこやさん 「国やちいきのよさに気づく」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	1	日本の伝統的な食べ物のあんこを作る地域のお店について考えることをとおして、自分たちが住む国や町のよさに気づき、国や郷土に愛着をもって親しもうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 自分の町のよさについて考える。 ○自分の町の素敵なお店などは、どんなところでしょうか。 2. 『わたしの町のあんこやさん』を読んで、国や地域に昔から伝わる伝統的なものやお店について考える。 【考えよう】 ○おいしいあんこを作るためにがんばるお店の人の話を聞いて、「わたし」はどのように思ったのでしょうか。 ★あんこを食べたとき、どうしていつもよりもおいしく感じたのでしょうか。 3. 自分の国や地域に昔から伝わるものやお店について、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○昔からある日本の食べ物で、好きなものはありますか。また、あなたの住んでいる町に、ずっと続いているお店や、これからも続いてほしいお店はありますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *国や郷土のよさに気づき、国や郷土の文化や生活について、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *国や郷土の文化や生活のよさを理解し、愛着をもって親しむことについて、自分との関わりで考えることができているか。	生活、伝統文化教育
	22 くらべてみよう 日本とせかい 「日本とせかいのちがいを知る」 【C 国際理解、国際親善】	1	日本と世界の違いにふれ、その違いを知るよさについて考えることをとおして、他国に対する理解や親しみをもつことのよさに気づき、ほかにも日本と世界ではどんな違いがあるのか調べてみようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 世界の国々について考える。 ○みんなが知っている国の名前はなんですか。 2. 『くらべてみよう 日本とせかい』を読んで、日本と他の国との違いについて考える。 【考えよう】 ○比べてみて、気づいたことや不思議に思ったことはありますか。 ★日本と他の国との違いを知ると、どのようなよいことがありますか。 3. 日本と世界の違いについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○ほかにも、日本と世界で比べてみたいものはありますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *世界の国々を理解することの大切さに気づき、すすんで世界の国々を知るためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *世界のいろいろな国を知るることの大切さを理解し、すすんで世界の国々のことを知ろうとする事について、自分との関わりで考えることができているか。	国際理解教育
1月③	23 きつねとぶどう 「ありがとうの気持ち」 【B 感謝】	1	子ぎつねを守った親ぎつねの愛情について考えることをとおして、家族などの日頃お世話になっている人々に、感謝の気持ちを伝えることの大切さに気づき、感謝の気持ちを表そうとする心情を育てる。	1. 物語の内容を予想して、考える。 ○きつねの親子がいます。どんなお話なのでしょう。 2. 『きつねとぶどう』を読んで、お世話になっている人々へ感謝の気持ちを伝えることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○このお話を読んで、感じたことや考えたことは、どのようなことですか。 ★子ぎつねは、どうして「お母さん、ありがとう。」と言ったのでしょうか。 3. お世話になっている人々へ感謝の気持ちを伝えることについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○みなさんは、どのようなときに「ありがとう」と伝えたくありませんか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *親子のきつねの思いや行動をとおして、家族などの周囲の人々に感謝の気持ちを伝えることの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *家族などの身近な人々に感謝の気持ちを伝えることについて、自分との関わりで考えることができているか。	国語
	＜コラム＞ ◆ありがとうのつたえ方		『きつねとぶどう』で学習したことを踏まえて、自分を助けてくれたり、守ってくれたりする人の存在に気づかせ、その人たちへの感謝の気持ちの伝え方について考えさせる。		—	

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
	24 ぼくも手つだうよ 「かぞくとしてできることを」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	あつし兄ちゃんに「たよりになるね。」と言われたときのまさるの気持ちについて話し合うことをとおして、自分にできることをすすんで行うことで家族の役に立てることに気づき、家族の一員としてできることをしようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 家族と生活するときに大切なことについて考える。 ○家族と生活する中で、大切なことはなんでしょう。 2. 『ぼくも手つだうよ』を読んで、家族の役に立つために、自分ができることをすすんで行うことのよさについて考える。 【考えよう】 ○まさるが「ぼくも手つだうよ。」と言ったのは、どうしてでしょう。 ★あつし兄ちゃんに「たよりになるね。」と言われたまさるは、どのような気持ちだったでしょう。 3. 家族の役に立つために、自分にできることをすすんで行うことの大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○家族の一人として、あなたができることにはどのようなことがあるでしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *自分ができることを行うよさに気づき、自分にできることをすすんで行うことについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *自分にできることをすすんで行うことで家族の役に立てることに気づき、家族の一員としてできることをしようとすることのよさについて、自分との関わりで考えることができているか。	—

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
ユニット:いのちを大切に作る						
	25 やっと会えたね 「はじめまして 小さいのち」 【D 生命の尊さ】	1	「わたし」(みさき)の心の動きを考えると、生命が誕生することのすばらしさに気づき、生命を大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 命の誕生について考える。 ○命が生まれてくるとき、周りの人はどう思っていたのでしょうか。 2. 『やっと会えたね』を読んで、命の大切さについて考える。 【考えよう】 ○まゆ叔母さんのお腹を触ったとき、みさきはどんなことを考えていたのでしょうか。 ★「やっと会えたね。」と言ったとき、みさきはどんなことを考えていたのでしょうか。 3. 命の大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○あなたはこのお話を読んで、命についてどんなことを考えましたか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *生命が誕生することの素晴らしさに気づき、生命の大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *生命のすばらしさ、生命の大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。	生活
2月④■	26 おむかえ 「かぞくとして」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	お姉ちゃんや「わたし」の気持ちや行動について考えることをとおして、家族の愛情に気づき、家族に対する愛情をいっそう深めようとする心情を育てる。	1. 家族について考える。 ○家族とはどのようなものか、みんなで考えてみましょう。 2. 『おむかえ』を読んで、家族の大切さについて考える。 【考えよう】 ○「おそいよ。」と言われたお姉ちゃんは、どのようなことを考えていたのでしょうか。 ★お姉ちゃんがお迎えに来てくれるまでのことや、お兄ちゃんが探してくれたことを知った「わたし」は、どのようなことを考えていたのでしょうか。 3. 家族の大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○このお話のように、家族に大切にされていると感じたことはありますか。また、家族に何かしてあげたいことはありますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *家族の愛情に気づき、家族が愛情をもって接してくれていることについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *家族の愛情を受け止め、家族のためにできることをすすんで行おうとするということについて、自分との関わりで考えることができているか。	—
	〈コラム〉 生まれたいのちは	—	『やっと会えたね』や『おむかえ』で学習したことを踏まえて、命がさまざまな人に愛され、守られ、支えられていることに気づかせる。			
	27 とおるさんのゆめ 「よいところをのばす」 【A 個性の伸長】	1	友達の良いところについて考えることをとおして、自分のよいところに気づき、そうしたよいところを伸ばそうとする心情を育てる。	1. 友達の良いところについて考える。 ○友達の良いところはどこでしょうか。 2. 『とおるさんのゆめ』を読んで、友達の良いところを見つけるよさについて考える。 【考えよう】 ○みんなが話したとおるさんのよいところを聞いて、「ぼく」が驚いていたのはどうしてでしょうか。 ★みんなはどのような気持ちで、とおるさんの話に拍手をしたのでしょうか。 3. 自分や友達の良いところを見つけることのよさについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○友達の良いところを見つけて、お互いのよいところを伝え合ひましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *自分や友達の良いところを見つけることのよさに気づき、自分や友達の良いところについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *自分のよさについて考える活動とおして、自分のよいところにさまざまな視点から気づき、どのようによいところを伸ばすかについて、自分との関わりで考えることができているか。	生活、キャリア教育
	28 つな引き大会 「楽しい学校生活のために」 【C よりよい学校生活、集団生活の充実】	1	「ぼく」が6年生のようなリーダーになりたいと思ったのはどうしてなのかについて考えることをとおして、学校のみんなどの関わりを深めることで学校生活を楽しくしていけることに気づき、学校生活を自分たちで楽しくしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 学校生活の中の楽しいことについて考える。 ○学校生活で楽しいのは、どんなことですか。 2. 『つな引き大会』を読んで、学校の人々に親しみ、学校生活を楽しくすることのよさについて考える。 【考えよう】 ○どうして、赤組は負けたのに、「ぼく」は気持ちがよかったのでしょうか。 ★「ぼく」が6年生のようなリーダーになりたいと思ったのは、どうしてでしょうか。 3. 学校生活を楽しくすることのよさについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○みんなで楽しい学校生活をつくるために、大切なことはなんですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *学校生活を楽しくすることのよさに気づき、学校生活を楽しくしていくために大切なことについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *学校のみんなどの関わりを深めることで学校生活を楽しくしていけることに気づき、学校生活を自分たちで楽しくしていくことのよさについて、自分との関わりで考えることができているか。	学級活動

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
3月②	29 ぐみの木と小鳥 「あいてのことを思って」 【B 親切、思いやり】	1	小鳥やぐみの木が、相手のことを思いやる気持ちについて考えることをとおして、相手のことを考え、親切に、温かい心で接することのよさに気づき、すすんで親切をしようとする心情を育てる。	1. 困っている人への親切について考える。 ○困っている人がいたら、あなたならどうしますか。 2. 『ぐみの木と小鳥』を読んで、相手のことを考え、親切に接することの大切さについて考える。 【考えよう】 ○嵐がやまない中、小鳥はじっと、どのようなことを考えていたのでしょうか。 ★小鳥の優しさと、ぐみの木の優しさは、どのようなものでしたか。 3. 相手のことを考え、温かい心で接することのよさについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○今まで親切にしたり、されたりしたことにはどのようなことがありますか。そのとき、どのようなことを思いましたか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 親切にすることのよさに気づき、相手を思いやる小鳥やぐみの木の気持ちや、親切な行動をすることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 相手のことを思いやり、温かい気持ちで親切にすることのよさについて、自分との関わりで考えることができるか。	国語
	30 しあわせの王子 「心のうつくしき」 【D 感動、畏敬の念】	1	王子とつばめの気持ちや行動について考えることをとおして、美しいものや美しい心についての理解を深め、美しいものや気高いものに感動しようとする心情を育てる。	1. 「しあわせの王子」について予想し、「しあわせ」について考える。 ○「しあわせの王子」とは、どんな王子様なのでしょう。 2. 『しあわせの王子』を読んで、美しい心のよさについて考える。 【考えよう】 ○つばめは、南の国に飛び立とうとしていたのに、なぜ王子のそばで暮らしたのでしょうか。 ★飾りがあったときの王子となくなったときの王子では、美しいのはどちらでしょう。 3. 美しい心のよさについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○「しあわせの王子」とは、どのような王子でしたか。そう思ったわけも言いましたか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 美しいものや美しい心についての理解を深め、王子やつばめの心の美しさについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 美しい心や、美しい心から生まれる行動のよさについて、自分との関わりで考えることができるか。	国語
適時	31 ゆっきとやっち 「友だちとたすけ合う」 【B 友情、信頼】	1	ゆっきとやっちの気持ちや行動について考えることをとおして、友達がいることのよさに気づき、友達と仲よく、助け合おうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 競争をするときの気持ちについて考える。 ○かけっこや競争をするとき、どんな気持ちになりますか。 2. 『ゆっきとやっち』を読んで、友達と助け合うことのよさについて考える。 【考えよう】 ○やっちの苦しそうな顔を見たゆっきは、何を迷っていたのでしょうか。 ★二人はどのような気持ちで、並んで飛んでいったのでしょうか。 3. 友達と助け合うことのよさについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○友達を助けたり、友達に助けられたりしたことはありますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 友達がいることのよさに気づき、友達と一緒に仲よく活動することのよさや楽しさ、助け合うことの大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 友達と仲よくし、助け合うことの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。	国語、体育
適時	32 友だち思い名人 「自分のよさに気づき、のぼす」 【A 個性の伸長】	1	先生から褒められたことで自分のよさに気づいたあきらの心の変化について考えることをとおして、自分のよいところに気づき、それを伸ばしていこうとする心情を育てる。	1. 今まで褒められたことから、自分のよさについて考える。 ○おうちの人や先生に、褒められたことはありますか。どんなことを褒められましたか。 2. 『友だち思い名人』を読んで、自分のよさに気づき、伸ばしていくことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○どうして「わたし」は、ゆうとさんの分まで掃除をがんばろうと思ったのでしょうか。 ★先生から『友だち思い名人』だね。」と言われたとき、「わたし」はどのようなことを考えたのでしょうか。 3. 自分のよさに気づき、伸ばしていくことの大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○あなたは、どのようなよさを伸ばしていきたいですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 自分のよさに気づき、自分のよさを伸ばしていこうすることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 自分のよさに気づき、伸ばしていこうすることについて、自分との関わりで考えることができるか。	学級活動
適時	33 ぼくたちのハッピーエール 「だれにでも」 【C 公正、公平、社会正義】	1	真剣な顔で苦手なことに取り組む友達を見て、自然に応援の言葉を発した「ぼく」の心の変化を考えることをとおして、自分の好き嫌いにとらわれずに友達と接することの大切さに気づき、自分の好みや利害によらず、誰にでも公平・公平に接しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 自分の好き嫌いにとらわれずに友達に接することができるかについて考える。 ○友達を笑顔にする言葉を、誰にでも同じようにかけられますか。 2. 『ぼくたちのハッピーエール』を読んで、自分の好き嫌いにとらわれずに友達に接することの大切さについて考える。 【考えよう】 ○ななみさんが、「ぼく」にもりょうさんにもハッピーエールをかける姿を見て、「ぼく」はどのように思ったのでしょうか。 ★「ぼく」は、どのような思いから「りょうさん、がんばって。」と言ったのでしょうか。 3. 自分の好き嫌いにとらわれずに友達に接することの大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○今日の学習で、誰にでも同じように接することの大切さについて、どのように考えましたか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 自分の好き嫌いにとらわれず、誰にでも公正・公平に接することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 誰にでも分け隔てなく接していこうという気持ちを高めるなど、誰にでも公正・公平に接することの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。	体育

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
適時	34 虫が大すき ——アンリ・ファーブル—— 「しぜんに親しむ」 【D 自然愛護】	1	身のまわりの虫たちに対するファーブルの姿勢について考えることをとおして、身近な自然や動植物に対する興味・関心を高め、自然や動植物を大切にしようとする心情を育てる。	1. 虫について不思議に思った経験について考える。 ○虫について、不思議に思ったことはありますか。 2. 『虫が大すき』を読んで、ファーブルが虫と関わるときに大切にしていたことについて考える。 【考えよう】 ○ファーブルのすごいところはどこでしょう。 ★ファーブルは、虫と関わるときに、どのようなことに気をつけていたのでしょうか。 3. 生き物と関わるときに大切なことについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○あなたは、生き物と関わるときに気をつけていることはありますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *身近な自然や動植物に対する理解を深め、自然や動植物との関わりについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *自然や動植物に親しむことの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。	生活
適時	35 日本のたから 富士山 「国やふるさとのよさ」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	1	富士山やその周りの自然についてよいと感じているまなさんの気持ちについて考えることをとおして、国や地域のよさに気づき、国や郷土に親しもうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 富士山について考える。 ○富士山について、知っていることはありますか。 2. 『日本のたから 富士山』を読んで、日本や地域のよさを大切にすることについて考える。 【考えよう】 ○まなさんが「富士山、おはよう。行ってきます。」と挨拶をしているのは、どのような気持ちからでしょう。 ★まなさんは自分の町が大好きだと思っていますが、それはどうしてでしょう。 3. 自分の国や町にあるよさについて確かめ、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○もし、まなさんが、あなたの町にやってくたら、どのようなところを好きになってくれると思いますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【つなげよう】 ○あなたの生まれ育ったふるさとや、住んでいる町のよさを、友達や先生、家族に伝えましょう。	【多面的・多角的に考える】 *国や郷土のよさに気づき、国や郷土の文化や生活について、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *国や郷土の文化や生活のよさについて、自分との関わりで考えることができるか。	伝統文化教育
適時	【しりょう】 みに つけよう れいぎ・マナー	適時	学校や家庭、学校でのマナーを知るとともに、なぜ礼儀やマナーを守ることが大切なのかについて考えることをとおして、日常生活のさまざまな場面で礼儀正しくふるまおうとしたり、マナーをすすんで守ったりしようとする実践意欲と態度を育てる。		【多面的・多角的に考える】 *マナーを守って生活することの大切さについて考え、礼儀やマナーを守って生活していくことについて多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *正しいマナーを身につけ、実際の場面で実践してみたいという気持ちや、マナーを守って生活していこうとすることについて、自分との関わりで考えることができるか。	生活
適時	学しゅうを ふりかえろう	適時	学期末・学年末に道徳の授業を振り返り、自分の成長を捉えさせる。		*心に残った話(教材)とそれを選んだ理由をまとめることができるか。 *一年間の道徳の学習をとおして感じたことや考えたこと、これからの生活に生かしていきたいことについて考え、まとめることができるか。	—